

## 自転車ネットワーク路線の再構築及び 自転車に係る実証実験の進捗状況等について

自転車ネットワーク路線の再構築等の進捗状況について、以下のとおり報告します。

### 1 自転車ネットワーク路線の再構築について

自転車利用環境の安全性及び快適性の一層の向上を図るため、区民、学識経験者及び区内警察署等に意見聴取を行った上で、現在、駅周辺等を中心に整備している自転車ネットワーク路線を区内全域に拡大する自転車ネットワーク路線の再構築を行いました。

#### (1) 新規路線延長

##### 【現行路線】

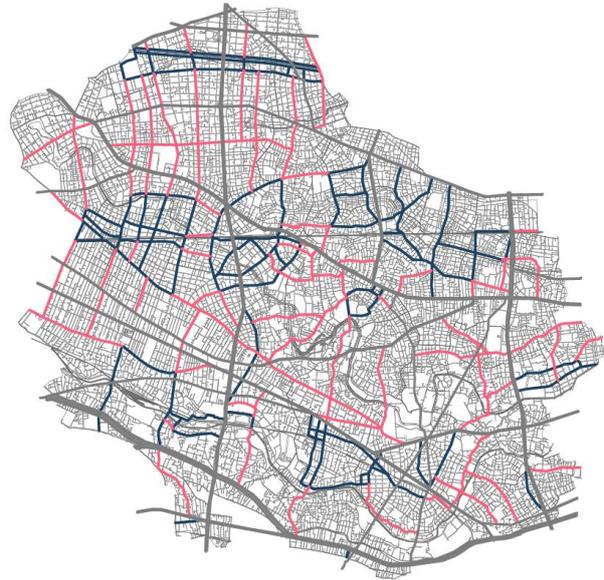


区道延長：53.7km

■ 整備済：40.7km (R6年度末)

■ 未整備：13.0km

##### 【新規路線】



区道延長：55.0km (追加分)

総延長 (現行路線含む)：108.7km

■ 新規ネットワーク路線

■ 現行ネットワーク路線

■ 国道・都道

#### (2) 今後のスケジュール (予定)

令和7年度 現行路線の整備

令和8年度～ 現行路線及び新規路線の整備

## 2 電動アシスト3輪自転車の業務利用に係る実証実験の実施について

区の業務における自転車利用を拡大するため、民間事業者との協働により、令和6年6月から令和7年3月末まで職員が荷台付き電動アシスト3輪自転車を業務利用する実証実験を行いました。今後は、協働事業者の協力を得ながら3輪自転車の活用の幅を広げつつ、本格導入も視野に入れた検討を進めていきます。

### (1) 実験結果の概要

#### ①利用状況及び取得データ

実利用人数：134人

総走行距離：1,463km

走行データ：走行ルート、走行距離、走行速度、急ブレーキ箇所等

#### ②有効性及び課題

(有効性)

- ・3輪のため車体が安定していて安心感がある。
- ・2輪の車両では運搬しにくい荷物を運ぶことができる。
- ・庁有車の利用を抑制する可能性が期待できる。

(課題)

- ・車両の改善が必要である。(アシスト機能強化、積載量の増大等)
- ・3輪の特性及び操作方法に理解や慣れが必要である。
- ・庁有車からの利用転換を一層推進する必要がある。

### (2) 令和7年度の実施

協働事業者から新規試作車を無償で1台借り受けて、区の業務において利用するとともに、協働事業者を通じて指定管理事業者等に貸出を行い、3輪自転車の活用の幅を広げていく。

### (3) 今後のスケジュール (予定)

令和7年6月～ 最終まとめの公表

新規試作車を借り受け (令和8年3月末まで)

区の業務及び指定管理事業における活用



<電動アシスト3輪自転車>

### 3 区独自のドライバー向け路面標示の実証実験について

クルマのドライバーに対して、道路を通行している自転車の側方を進行する際に十分な間隔の確保又は低い速度による進行等を促すため、路面標示を設置し、その有効性を検証する実証実験を行います。

#### (1) 実験概要

##### ①検証内容

路面標示の整備前後におけるクルマの走行速度や自転車との間隔の変化を確認する。

##### ②実験方法

- ・区独自にデザインした法定外の路面標示を区道に設置する。
- ・区が管理するカーブミラー等にレーザーを用いた観測機器を設置し、自転車及びクルマの走行状況を記録する。 ※観測機器では個人を特定できる情報は収集しない。

##### ③実施場所



<神明通り>



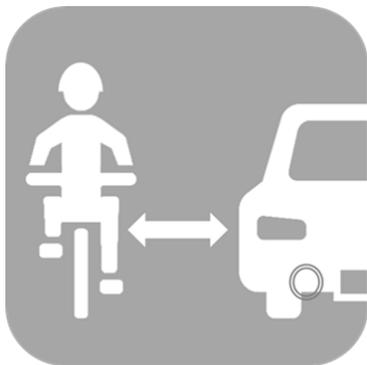
<永福町駅北口商店街通り>

#### (2) 協働実施

本実験の趣旨に賛同を得た東海大学との協定に基づき、同大学との協働で実施する。

#### (3) 路面標示

道路に貼付け可能なステッカータイプの製品にピクトグラムを印刷し、クルマのドライバーから視認しやすい寸法とする。



<路面標示イメージ>



<設置イメージ>

#### (4) 今後のスケジュール (予定)

令和7年9月	実証実験の周知
10月	実証実験実施 (1~2週間程度)
11月~	記録データ集計・分析 (東海大学で実施)
令和8年3月	まとめ

